

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして!

2009.2.8 No.503 (毎月2回発行)

あきる野市委員会は次の見解を発表しました。

日本共産党新春演説会 会場一杯の聴衆！拍手の嵐！

1・18 in あきる野ルピアホール



左から、戸沢市議、鈴木おさむ衆院東京25区予定候補、小池参院議員、たばた市議予定候補、山根市議。

● 共産党を伸ばし市議選・総選挙の勝利を 小池あきらら参議院議員が訴え

日本共産党あきる野市委員会と後援会はルピアホールで、新春演説会を開催しました。

当日はテレビラジオでお馴染みの小池あきら参議院議員の話をお聞きと開会前から参加者が詰め掛け、開会時には会場一杯の二百十人で会場が埋まりました。

市議予定候補、市議会議員が政策と決意表明

今期で勇退する影山保

市議会議員の司会で、演説

会は開会しました。

初めに、二宮在住の小池

長之助さんが後期高齢者

医療制度のひびきを話し

撤廃を訴えました。その後

たばたあずみ市議予定候補

山根とみえ、戸沢ひろゆき

各市議会議員が六月の市

議会議員選挙にむけての

政策と決意表明をし、会場

の拍手を浴びました。

笑い誘いながら本質を突く

小池さんに拍手が

鈴木おさむ衆院東京

二十五区予定候補が、不人

気の自民党の候補者が、新

年の集会挨拶で自民党と

一言も言わなかった事実

を指摘。いまこそ日本共産

政治の責任が問われている。人間らしい働き方を取り
日本共産党の躍進で労働「戻そう」と話しました。
者派遣法を抜本見直しし、

日本共産党の躍進こそ政治を変える近道

小池氏は民主党も「生活 えても中味が変わらなけ
が第一」と掲げているが大 ればだめ。日本共産党を伸
企業中心、アメリカ力いな ばして暮らしを温める本
りでは自公と根が同じだ 当の改革を」と訴え満場の
と指摘。「政権の看板を変 拍手を浴びました。

★小池さんの話は分かりやすく、政治のからくりと
共産党の論理がよく分かりました。一人でも多く
議員を送り出したい。(66才 女性)

★演説者に深い感銘を受けた。若いたばたさんの話
はとても良かったです。小池さんの軽妙なお話は
とても楽しかったです。(62才自営業 男性)

★党の演説会に初参加の人にはまだ少し距離感があ
り、でも、こうした話を聞く機会がない人達が会場溢
れんばかりに参加したことは大成功ですね。
(会場で55年ぶりに会った後援会員に語る——76才男性)

政治の責任が問われている。人間らしい働き方を取り
日本共産党の躍進で労働「戻そう」と話しました。
者派遣法を抜本見直しし、

日本共産党の躍進こそ政治を変える近道

小池氏は民主党も「生活 えても中味が変わらなけ
が第一」と掲げているが大 ればだめ。日本共産党を伸
企業中心、アメリカ力いな ばして暮らしを温める本
りでは自公と根が同じだ 当の改革を」と訴え満場の
と指摘。「政権の看板を変 拍手を浴びました。

★小池さんの話は分かりやすく、政治のからくりと
共産党の論理がよく分かりました。一人でも多く
議員を送り出したい。(66才 女性)

★演説者に深い感銘を受けた。若いたばたさんの話
はとても良かったです。小池さんの軽妙なお話は
とても楽しかったです。(62才自営業 男性)

★党の演説会に初参加の人にはまだ少し距離感があ
り、でも、こうした話を聞く機会がない人達が会場溢
れんばかりに参加したことは大成功ですね。
(会場で55年ぶりに会った後援会員に語る——76才男性)

政治の責任が問われている。人間らしい働き方を取り
日本共産党の躍進で労働「戻そう」と話しました。
者派遣法を抜本見直しし、

日本共産党の躍進こそ政治を変える近道

小池氏は民主党も「生活 えても中味が変わらなけ
が第一」と掲げているが大 ればだめ。日本共産党を伸
企業中心、アメリカ力いな ばして暮らしを温める本
りでは自公と根が同じだ 当の改革を」と訴え満場の
と指摘。「政権の看板を変 拍手を浴びました。

★小池さんの話は分かりやすく、政治のからくりと
共産党の論理がよく分かりました。一人でも多く
議員を送り出したい。(66才 女性)

★演説者に深い感銘を受けた。若いたばたさんの話
はとても良かったです。小池さんの軽妙なお話は
とても楽しかったです。(62才自営業 男性)

★党の演説会に初参加の人にはまだ少し距離感があ
り、でも、こうした話を聞く機会がない人達が会場溢
れんばかりに参加したことは大成功ですね。
(会場で55年ぶりに会った後援会員に語る——76才男性)

政治の責任が問われている。人間らしい働き方を取り
日本共産党の躍進で労働「戻そう」と話しました。
者派遣法を抜本見直しし、

日本共産党の躍進こそ政治を変える近道

小池氏は民主党も「生活 えても中味が変わらなけ
が第一」と掲げているが大 ればだめ。日本共産党を伸
企業中心、アメリカ力いな ばして暮らしを温める本
りでは自公と根が同じだ 当の改革を」と訴え満場の
と指摘。「政権の看板を変 拍手を浴びました。

★小池さんの話は分かりやすく、政治のからくりと
共産党の論理がよく分かりました。一人でも多く
議員を送り出したい。(66才 女性)

★演説者に深い感銘を受けた。若いたばたさんの話
はとても良かったです。小池さんの軽妙なお話は
とても楽しかったです。(62才自営業 男性)

★党の演説会に初参加の人にはまだ少し距離感があ
り、でも、こうした話を聞く機会がない人達が会場溢
れんばかりに参加したことは大成功ですね。
(会場で55年ぶりに会った後援会員に語る——76才男性)

野良望

先日の夕方、テレビの画面を
見て、体が震えた。品川駅前
の京浜ホテルで自主営業して
建物にろう城している労働者
のスクラムに警官隊が襲い掛
かる。▼40数年前の冬の夕方、
私と60数人の労働組合員が全
員解雇反対闘争でろう城して
いた木造二階建ての社屋を警
官隊が表玄関に押しかける。
そこに組合員が集まった瞬間、
裏口から暴力団の一群が乱入、
駆けつけた私は暴力団と乱闘、
最後は私ともう一人の組合員
だけが逃れて二階へ。階段に
机や椅子を投げてバリケード
をつくった。一階は暴力団が
占拠。建物の外回りで排除さ
れた組合員が労働歌を唄う。
その外側を警官隊が囲む。や
がて夜中にかけて周辺の労働
者が続々と駆けつけ、びっし
りと警官隊を包囲。寒空に響
き渡った「帰れ、帰れ」の大合
唱。▼その後の交渉で暴力団
は退去。争議は一年半後に組
合の勝利で和解終結。労働者
いじめを許さない熱い思いの
青春の闘いだっただけ。▼40数年
経っても繰り返されている労
働者の闘いに心が震える。(絶)

ごめんなさいもありがとうも
こんにちには、こどもの心の中
にはいっぱいあります。ちょっ
と代わりに言ってあげるだけ
のことです。やがて自分で言
えるようになります。口先だけ
でなく、自分の言葉として。

(09.2.8)
連絡先は☎550-6674

“移動派遣村”開く

りストラ・派遣切り許すな！相談会

日本共産党地区委・あきる野市議団が



日本共産党の西多摩青梅地区委員会とあきる野市議団は、一月二十六日夕に秋川駅北口で「労働・生活相談会」を開催しました。寒いこともあり、トン汁、温かい飲み物、ケーキなどを用意しました。

駅を利用する多くの通勤者、学生が「何が始まったのか」とヒラを受け取り、興味深く見ている中で、いくつかの相談や質問が寄せられました。

「派遣」だが、仕事が減り、雇い止めの心配がある……三件。仕事がきつく体力が持たない……一件。相統問題……一件。また、青年が「共産党のことを知りたい」と云って座り、じつくり話し込んでいきました。今後も開催予定です。

市議団のアンケートに回答続々

一月に、日本共産党市議団が行った市民アンケートに市民からたくさんのお返事が寄せられています。とりわけ「暮らしの問題で、いままでより悪くなった」と答えた方が圧倒的に多いのが特徴です。「給与が減らされ収入が減り、高校に行かせたくても経済的な問題で、きりめなければならぬ」と



他に医療や子育て、介護など様々な問題で、つしりと書かれています。向けて頑張ります。

「るのバス」改善要求の署名にご協力

ありがとうございます

あきる野に循環バスを走らせる会 木崎 名を続けますのでご協力を。

しんぶん「赤旗」に折り込みましたところ、郵送・電話連絡など多数頂き有難うございました。六月議会で陳情の予定です。引き続き、五月中旬まで署名を続けますのでご協力を。

山根とみえさんを励ます集い

山根事務所・後援会 主催

●2月15日(日)午後2時～ ●御堂会館(草花)

市議選まで、4ヵ月となりました。3期目に挑戦する山根議員の再選を果すため「励ます会」を開きます。皆様のご参加をお待ちしています。

バラの接木講習会

五日市日本共産党後援会 主催

●2月21日(土)午後1時半～ ●大和田バラ園

山田 723-11

●講師＝大和田宏次(日本バラ会幹事・武蔵野バラ会副会長)

●参加費＝1,000円

●お申し込み＝電話またはFAXで 595-0120

台木、テープ、徳木は用意します。ナイフ、軍手は持参してください。

後援会だより

将棋ならもう投了だ麻生さん
都の村は松原村と日比谷村
山泉の悪行はねた派遣切り
非正規の血と汗吸う大企業

西川昇
西川昇
松籟坊
松籟坊



絵手紙/瀬川和子さん・牛沼在住

歴史探訪

第83回

地名考・上代継 下代継②



陸橋通り

正保の頃は代官が支配していたが、その後の事は分からない。宝暦四年(一七五四)米津越中守政崇の領分となり、今はその子孫が治めている。村内の一本の道は八王子から五日市への道であり、村内を通るのは約八〇〇米である」

(続く) 草花 木崎秀治

俳句

朝の日や七草粥に湯気の立ち
ねんねこの子の背に熊の縫ぐるみ
七草のひとつを庭に摘みにけり
笹鳴の敷に踏み入り草の傷
ものけの話いろりの櫓はじけ

幼児の笑顔二つの初詣
二拍手に呼ばるる神や屠蘇の照り
蒼天や枯木に残るからすり
橋渡る来間島池間島や春の海
年越しのストーブ燃えよ派遣村
亡夫と居る雑煮の櫛や朝日出づ
木枯しの抜けゆく街の塵芥

(淑子)
(かほる)
(照代)

(るり子)
(勝代)
(和恵)
(静子)
(忠治)
(富子)
(秀治)

一八八九年(明治二十二年)の「地名索引」では「四木」という村名はあっても「代継」は全国でありませぬ。「ヨツギ」は「四ツ木」であったが「ヨ」の字の意味が変化してゆき、「世」になっていったと云われます。山本健吉は「よ」と云う文字は戸主の世代を意味すると共に、年々の豊年を意味する」と書いています。

江戸期の葛飾郡西葛西領四ツ木村について「新編武蔵風土記稿」(木崎詳略)では、「立石村の中に四本の太木があった場所なのでこの名を唱え、その後、分村の時に四ツ木村としたとあります。多分、樫の木のような堅い太木があり、枝を切つて炬で燃やしたのでしょうか。これが櫓の四ツ木と関連した村名です。」

上代継・下代継について「新編武蔵風土記稿」(木崎詳略)では次ぎの記述があります。「代継村は郡の中程にあり、秋留郡である。日本橋より48キロ、今は二村に分かれているが正保の頃(一六四四)は一村であった。村の四境は、東が牛沼村、南は山頂を境として戸吹村に及んでいる。西は淵上村に続き、北は平井村である。村内の多くが平地であり土性は真土と黒土が交っている。水田が少なく陸田が多い。民家98軒が所々に散在している。」